

(7)年平均値等の濃度上位局

平成25年度から29年度までの昼間の年平均値上位3位(4、5位については局数が多いため省略)を表2-4-5に、昼間の年最高値上位5位を表2-4-6に示した。

年平均値は、25年度は野田、東葛地域の測定局のみであったが、26年度以降、北総、成田、印西、長生夷隅、南房総地域の測定局が多く入るようになってきた。年最高値は、年平均値とは異なり、千葉、市原、葛南地域の局が1、2位に入ることが多かった。

表2-4-5 O_x年平均値上位3位

(ppm)

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	局名	年平均値	局名	年平均値	局名	年平均値	局名	年平均値	局名	年平均値
1	野田桐ヶ作	0.037	柏永楽台	0.041	一宮東浪見	0.039	一宮東浪見	0.038	一宮東浪見 館山亀ヶ原	0.039
2	松戸五香 松戸根本 松戸二ツ木 柏永楽台 柏大室 野田市野田	0.036	一宮東浪見	0.039	香取府馬 成田奈土	0.038	館山亀ヶ原 香取羽根川 香取府馬 匝瑳椿 銚子栄	0.036	鋸南下佐久間 香取羽根川 香取新島 香取府馬 銚子栄	0.038
3	市川大野 市川本八幡 流山平和台	0.035	館山亀ヶ原	0.038	我孫子湖北台 匝瑳椿	0.037	栄安食台 横芝光横芝 我孫子湖北台 鋸南下佐久間 香取新島 勝浦小羽戸 成田加良部 成田奈土 野田桐ヶ作	0.035	横芝光横芝 我孫子湖北台 市原松崎 勝浦小羽戸 千葉おゆみ野 千葉大宮 匝瑳椿 野田桐ヶ作	0.037

表2-4-6 O_x年最高値上位5位

(ppm)

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	局名	年最高値	局名	年最高値	局名	年最高値	局名	年最高値	局名	年最高値
1	木更津中央 船橋若松 君津久保	0.185	野田桐ヶ作	0.156	市原岩崎西	0.201	袖ヶ浦坂戸市場	0.155	市原岩崎西	0.177
2	袖ヶ浦坂戸市場	0.174	袖ヶ浦横田 袖ヶ浦川原井	0.154	袖ヶ浦三ツ作	0.179	千葉真砂	0.136	船橋若松	0.175
3	木更津真里谷 君津糠田	0.172	市原有秋 栄安食台	0.151	袖ヶ浦坂戸市場	0.175	習志野鷺沼	0.132	千葉真砂	0.163
4	袖ヶ浦長浦 千葉寒川	0.171	千葉都 鋸南下佐久間	0.149	野田桐ヶ作	0.174	木更津中央	0.128	習志野鷺沼	0.159
5	習志野鷺沼	0.168	袖ヶ浦蔵波	0.147	袖ヶ浦横田 成田奈土	0.171	千葉検見川	0.126	市川行徳駅前	0.152

(8)O_xに関する新指標値について

平成26年9月に環境省から、O_xに関する新たな指標として、「日最高8時間平均値の年間99パーセントイル値の3年平均値」が通知されたことから、千葉県のデータについて、新指標値の試算を行った。

ア 試算方法

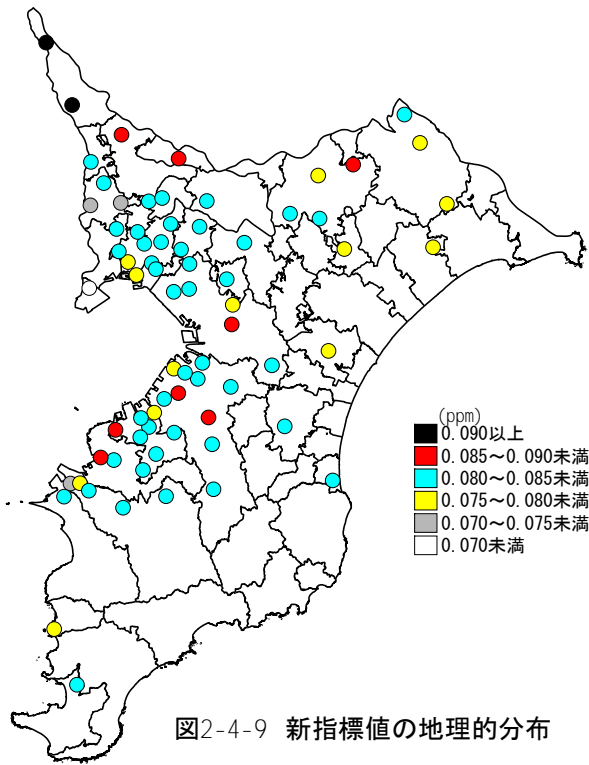
対象期間:平成5年度から29年度まで

対象測定局:平成5年度から29年度まで継続して測定し、この期間中すべて有効測定局(年間の測定時間数が6,000時間以上)となった72局を対象とした。

算出方法:

8時間移動平均:前日18時から1時、19時から2時、…17時から24時までの24個の移動平均を求め、その最高値をその日の値とした。

99%値:上記移動平均の日最高値について、99%値(365日測定の場合、下から順番に並べて、361日目)を測定局毎に算出した。



イ 地理的分布

対象72局における平成27-29年度の新指標値の地理的分布を図2-4-9に示した。新指標値が0.090ppm以上の地点は、野田地域の野田桐ヶ作局、野田市野田局であった。一方、0.075ppm未満は浦安猫実局、松戸根本局、松戸五香局、君津人見局であった。0.085～0.090ppmの地点は東葛、千葉、市原、君津、印西、成田地域と広範囲に渡って見られた。

図2-4-9 新指標値の地理的分布

ウ 指標値等の経年推移

新指標値(平均値、最高値、最低値)、時間達成率、Ox年平均値、Ox日最高値0.120ppm以上日数の3年平均値(対象局平均)の推移を図2-4-10に示した(新指標値以外は昼間(5時～20時)の値)。新指標値は、平均値、最高値、最低値いずれも平成5-7年度から平成7-9年度にかけて緩やかに低下し、その後、平成15-17年度に向けて上昇し、最高値、最低値は平成15-17年度が、平均値は平成14-16年度が最も高い値をした。その後、平成18-20年度頃まで低下傾向を示し、その後はほぼ横ばいで推移した。時間達成率は、新指標値とは逆の動きを示し、新指標値が高い値を示した平成15-17年度が最も低く92%以下となった。Ox日最高値0.120ppm以上日数は新指標値と類似した動きを示したが、Ox年平均値は変動はあるものの上昇傾向にあり、その動きは新指標値とは異なった。

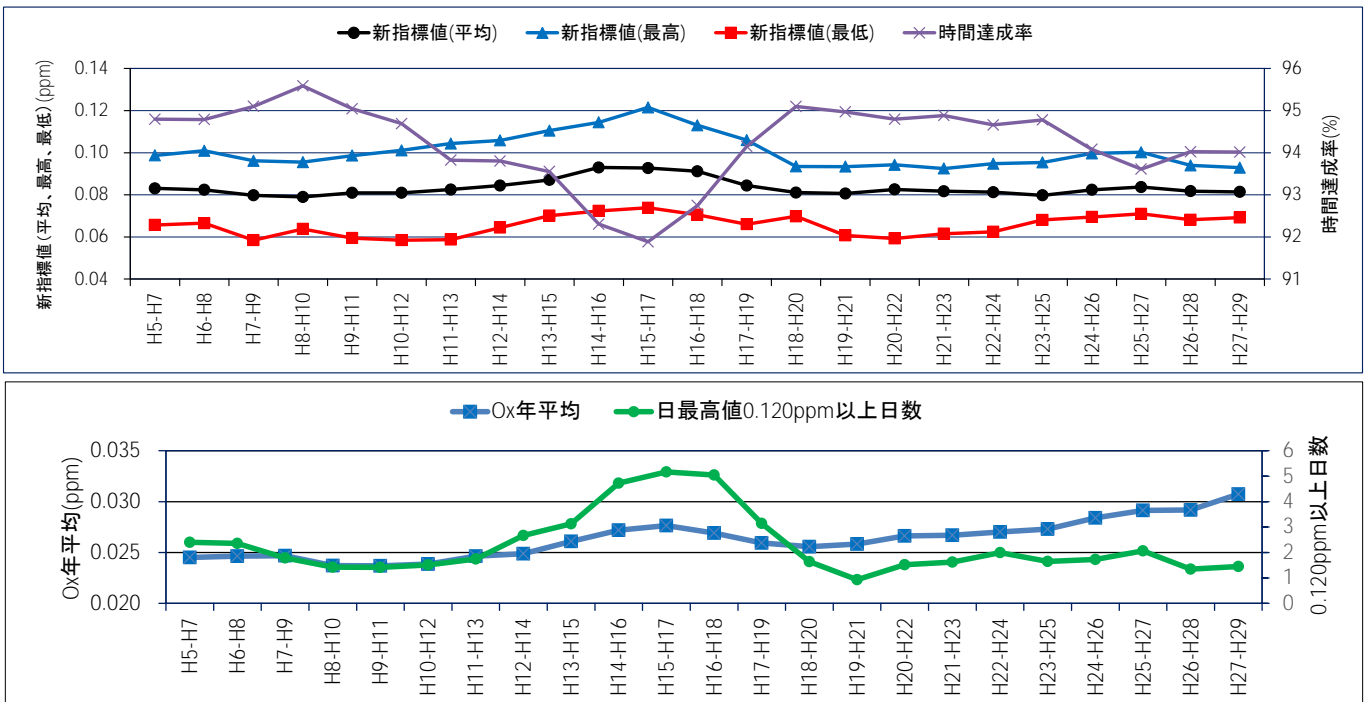


図2-4-10 新指標値及びOx年平均値、日最高値0.120ppm以上日数の推移

エ 新指標値及び他の指標間の相関関係について

新指標値の平均値と他の指標間の相関係数を表2-4-7に示した。新指標値と、良い相関関係にあるのは、Ox日最高値0.12ppm以上日数であることがわかる(相関係数0.954)。時間達成率は負の相関であるが、高い相関係数となった。一方、年平均値と新指標値との相関関係は低いと言えた。

表2-4-7 新指標値(平均値)と他の指標の相関係数 (年平均を除き、いずれも1%有意)

項目	時間達成率	Ox日最高値0.12ppm以上日数	Ox年平均
相関係数	-0.924	0.954	0.234

オ 新指標値の上位局、下位局

新指標値の上位5局を表2-4-8に、下位5局を表2-4-9に示した。上位局については、野田桐ヶ作局が5年連続で1位となり、野田市野田局が2位となった。下位局については、浦安猫実局、君津人見局、君津坂田局が5年連続で5位以内に入っており、浦安猫実局は平成25-27年度以降は1位となっていた。

表2-4-8 新指標値上位5位

(ppm)

	平成23-25年度		平成24-26年度		平成25-27年度		平成26-28年度		平成27-29年度	
	局名	新指標値	局名	新指標値	局名	新指標値	局名	新指標値	局名	新指標値
1	野田桐ヶ作	0.095	野田桐ヶ作	0.100	野田桐ヶ作	0.100	野田桐ヶ作	0.094	野田桐ヶ作	0.093
2	野田市野田	0.094	野田市野田	0.097	野田市野田	0.097	野田市野田	0.093	野田市野田	0.091
3	松戸五香 我孫子湖北台 松戸ニツ木	0.087	柏大室	0.092	柏大室	0.094	柏大室	0.090	我孫子湖北台	0.089
4	柏大室 市川大野 千葉大宮	0.086	流山平和台 市川大野	0.091	流山平和台	0.092	我孫子湖北台	0.089	袖浦坂戸市場 千葉大宮	0.088
5	君津久保 流山平和台 船橋豊富 袖ヶ浦三ツ作 白井七次台	0.085	松戸ニツ木 八千代高津	0.090	市川大野 八千代高津	0.091	市原松崎 流山平和台	0.087	木更津中央 市原松崎	0.087

表2-4-9 新指標値下位5位

(ppm)

	平成23-25年度		平成24-26年度		平成25-27年度		平成26-28年度		平成27-29年度	
	局名	新指標値	局名	新指標値	局名	新指標値	局名	新指標値	局名	新指標値
1	君津俵田	0.068	木更津清見台	0.069	浦安猫実	0.071	浦安猫実	0.068	浦安猫実	0.069
2	君津坂田	0.070	浦安猫実	0.071	木更津清見台	0.073	君津坂田	0.070	松戸根本	0.071
3	浦安猫実	0.071	君津坂田	0.072	君津坂田	0.076	木更津清見台 君津人見	0.072	松戸五香	0.072
4	君津人見 香取府馬 君津糠田	0.072	君津俵田	0.075	君津人見 富津下飯野 匝瑳椿 市原岩崎西	0.077	松戸根本	0.074	君津人見	0.073
5	船橋南本町 木更津清見台	0.074	香取府馬 君津糠田 匝瑳椿 君津人見 市原岩崎西 船橋南本町	0.076	香取府馬 香取新島 香取大倉 一宮東浪見 東金堀上 鋸南下佐久間	0.078	香取大倉	0.076	香取大倉 君津坂田	0.075